

核兵器廃絶と世界恒久平和を求める特別声明

71年前、人類史上最初の核兵器である原子爆弾が投下され、灼熱の閃光と爆風により、広島街は一瞬にして壊滅し、多くの尊い生命が失われ、数え切れない人々が傷ついた。

身をもって核兵器が非人道的な兵器であることを経験した広島県を抱く中国地方各県にとって、核兵器のない平和な国際社会の実現は、長年にわたる大きな願いであるが、世界には依然として、全ての生命を消滅させるのに十分な数の核兵器が存在し、核兵器の拡散・使用のリスクは地球規模で増大している。

この度のオバマ大統領の広島訪問は、核兵器廃絶に向けたプロセスの進展が停滞する中、全世界に勇気を与える歴史的な英断であると受け止め、中国地方知事会として、高く敬意を表するものである。

また、原爆死没者に対し哀悼の意を表するとともに、以下を要請する。

1 核兵器廃絶に向けて

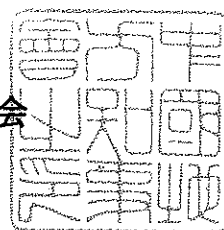
世界の政治指導者たちが広島を訪問し、核兵器の非人道性を自身の目で確かめた上で、核兵器廃絶に向けた新たな一歩を踏み出すこと

2 世界の恒久平和を求めて

全世界が核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて努力すること

平成28年5月23日

中国地方知事会



鳥取県知事	平井伸治
島根県知事	溝口善兵衛
岡山県知事	伊原木隆太
広島県知事	湯崎英彦
山口県知事	村岡嗣政